



信金中央金庫

SCB

SHINKIN CENTRAL BANK

地域・中小企業研究所

ニュース&トピックス No. 2020-39

(2020. 8. 13)

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048

URL <https://www.scbri.jp> e-mail : s1000790@FaceToFace.ne.jp

資金繰り支援と給付金で信用金庫の貸出金・預金は急増

－ 7月末の信用金庫の貸出金は6.7%増、預金は6.0%増－

井上 有弘

ポイント

- 7月は、経済活動の範囲が拡大、制度融資の利用や各種給付金の支給が進んだ時期であった。
- 信用金庫の7月末の貸出金は前年同月比で6.7%増、預金は6.0%増と、さらに伸び率を高めた。
- 貸出金が高い伸びとなった主因は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う資金繰り資金として、特に5月以降、各信用金庫が企業向け運転資金貸出を急増させていることにある。
- 預金が高い伸びとなった主因は、資金繰り資金や持続化給付金の預金口座での滞留のほか、特別定額給付金が個人預金口座に入金されたことにある。
- 特別定額給付金が個人預金シェアに応じて入金されるとすると、信用金庫には約1.5兆円が流入することになる。また、8月以降は、個人預金の伸び率上昇ペースの鈍化が見込まれる。

1. 7月は制度融資利用・給付金支給が進む

2020年6月19日に都道府県境をまたぐ移動自粛が全国で解除され、7月22日には観光需要喚起の「GoTo トラベル」事業が開始されるなど、7月は、再開された経済活動の範囲が拡大された時期であった(図表1)。一方で、新規感染者が再び増加、地域的にも広がるなど、楽観できない状況が続いた。

また、5月に開始された民間金融機関での実質無利子・無担保の制度融資の利用や、各種給付金の支給が進んだ時期でもあった。

(図表1) 新型コロナを巡る主な動き

月日	主な動き
4月7日	7都府県(東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡)に緊急事態宣言を発令
16日	緊急事態宣言の対象を全国に拡大
30日	第1次補正予算成立(持続化給付金、特別定額給付金、GoToキャンペーン事業等)
5月1日	制度融資を活用して民間金融機関でも実質無利子・無担保の融資を受けることができる制度開始 持続化給付金の申請受付開始 特別定額給付金、一部自治体で申請受付開始
25日	緊急事態宣言が全国で解除
6月1日	多くの公立学校が分散登校や短縮授業などで再開
12日	第2次補正予算成立(雇用調整助成金の拡充、資金繰り対応強化、家賃支援給付金、医療提供体制強化等)
19日	都道府県境をまたぐ移動自粛を全国で解除
7月14日	家賃支援給付金の申請受付開始
22日	観光需要喚起のための政府の「GoToトラベル」事業、東京都発着の旅行を除外して開始
8月7日	国内の1日の感染者数が1,605人と過去最高を更新

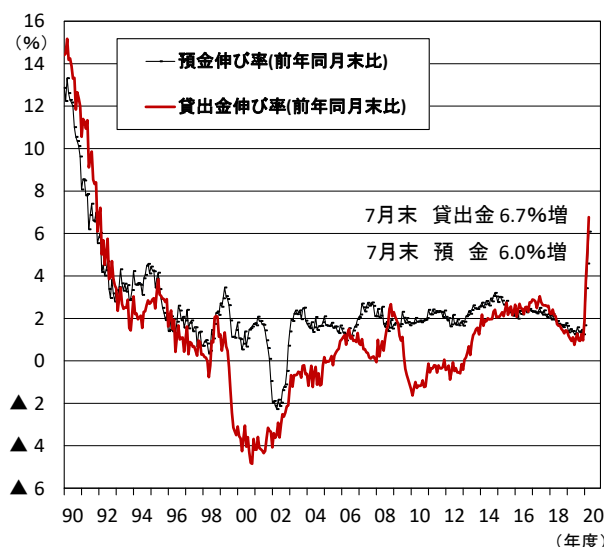
(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 信用金庫の預金・貸出金はさらに伸びる

こうしたなか、7月末の全国255信用金庫の貸出金合計(速報)は、前年同月比6.7%増と、5月末の同3.8%増、6月末の同5.1%増を上回り、伸び率を高めた(図表2)。6.7%増の伸び率は、1992年5月(7.2%増)以来の高さである。貸出金の残高水準(76.1兆円)は、4か月連続で過去最高額を更新した。

預金は、7月末に153.6兆円、伸び率は同6.0%増となった。伸び率は92年5月(6.0%増)以来の高さ、残高水準は4か月連続で過去最高額を更新した。

(図表2) 信用金庫の預金・貸出金伸び率の推移



(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

3. 貸出金の増加は資金繰り支援が主因

貸出金について、最近の貸出先別の寄与度をみると、企業向け運転資金が大きく寄与している(図表3)。貸出先別データが把握できる6月末の前年同月比伸び率 5.1%増のうち、4.7%ポイント分が企業向け運転資金による寄与である。他方、企業向け設備資金、個人向け貸出の寄与度は、6月にはやや縮小している。

貸出金が高い伸びとなった主因は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う資金繰り資金として、特に5月以降、各信用金庫が企業向け運転資金貸出を急増させていることにある。

4. 預金の増加は滞留資金と給付金が主因

預金について、最近の預金者別の寄与度をみると、法人預金および個人預金が大きく寄与している(図表4)。預金者別データが把握できる6月末の前年同月比伸び率 4.5%増のうち、2.5%ポイント分が法人預金、2.0%ポイント分が個人預金による寄与である。

預金が高い伸びとなった主因は、資金繰り資金や持続化給付金の預金口座での滞留のほか、特別定額給付金が個人預金口座に入金されたことにある。

5. 特別定額給付金で1.5兆円程度押し上げ

個人預金急増の一因である「特別定額給付金」は、市区町村への申請によって1人一律10万円が世帯主の預金口座に入金されるものである。7月末時点の支給率は約97%¹と、既にほとんどが支給済である。仮に予算額12.73兆円が個人預金シェア(図表5)に応じて各業態の口座に入金されたとすると、信用金庫には約1.5兆円(予算額12.73兆円×シェア12.2%)が流入することになる。

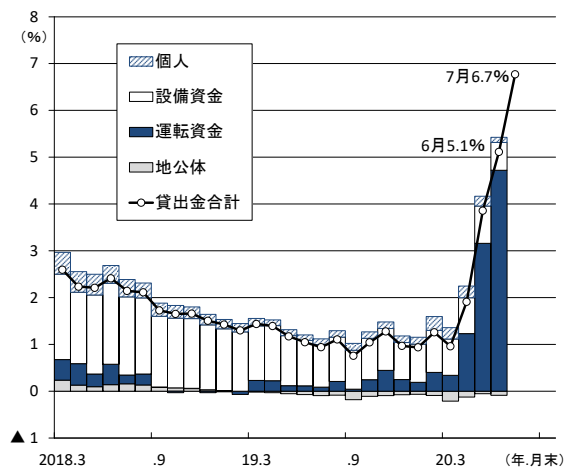
信用金庫業界の個人預金は、例年4～6月の3か月間で年金やボーナスの影響から1兆円程度(2010～19年では0.7～1.2兆円、平均1.0兆円)増加するが、20年の4～6月は約2.6兆円増加している。

6月末時点の支給率が75%程度であることを勘案しても、個人預金の例年以上の増加分の多くは、特別定額給付金によるものと考えられる。また、8月以降は、特別定額給付金の支給がほとんどないため、個人預金の伸び率上昇ペースの鈍化が見込まれる。

以上

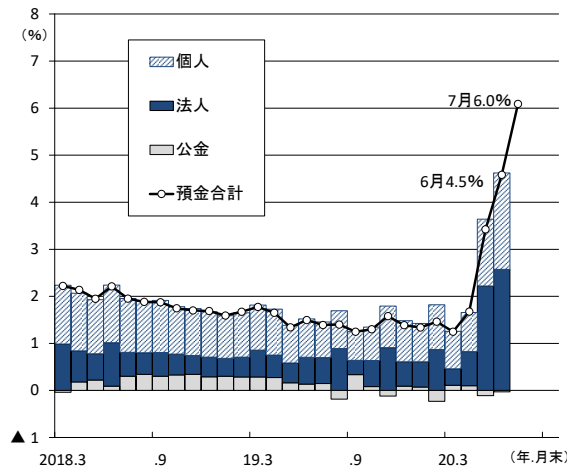
※「信用金庫地区別預金・貸出金残高(速報)」、「信用金庫 預金、現金、貸出金残高(地区・都道府県別)」を信用金庫に還元しております。併せてご活用ください。

(図表3) 貸出金の伸び率の寄与度(前年同月比)



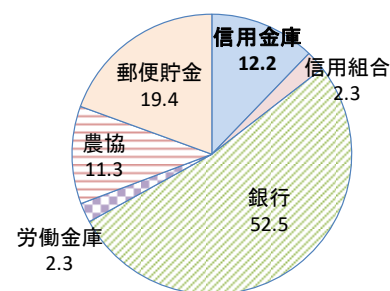
(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

(図表4) 預金の伸び率の寄与度(前年同月比)



(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

(図表5) 個人預金の業態別シェア(2020年3月末、%)



(備考) 1. 各業態資料より、信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 信用金庫、銀行は個人預金、他の業態は預金計

¹ 総務省(kyufukin.soumu.go.jp)によれば、7月31日時点で、予算額12.73兆円に対して支給済金額は12.32兆円、96.8%が支給済となっている。なお、6月26日時点では71.6%、7月1日時点では76.4%となっている。

本レポートは、情報提供のみを目的とした上記時点における当研究所の意見です。施策実施等に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当研究所が信頼できると考える情報源から得た各種データ等に基づいて、この資料は作成されておりますが、その情報の正確性および完全性について当研究所が保証するものではありません。